

JR三ノ宮新駅ビル構想発表に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 家次 恒

JR三ノ宮新駅ビルは、神戸の玄関口である都心・三宮の中核施設として、その一日も早い整備を心待ちにしており、今回の発表は大きな前進として歓迎したい。

コロナ禍の影響で計画の見直しを余儀なくされたが、都市間競争が激しさを増す中、神戸の新たな都市バリューを創造する上において、新駅ビルを核とした再整備を着実につスピーード感をもって進めなければならない。

一方で、今後長期を要するため、再整備が進む過程においても、時代の変化やテクノロジーの進化にあわせて都心部全体の機能を高め、神戸が大きく変貌するダイナミズムを力強く発信し、人や企業を国内外から広く呼び込むことが求められる。

そのためにも、個別の施設やエリアごとの開発に留めず、神戸空港の国際化や南北アクセスの強化等を踏まえた総合的なランドデザインのもと、都心部全体の魅力形成が進むよう、官民で力を合わせて取り組んでいきたい。

令和三年十月五日